



かしわの木

平成30年10月4日
東村山市立東村山第五中学校

校長 安藤 環

今年は強力な台風が何度も襲来するなど、日本全国でさまざまな災害が発生しています。あらためて自然の脅威というものを実感させられました。被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

本校では3年生の修学旅行や2年生の職場体験、1年生の校外学習などが無事に終わりました。保護者の皆様や地域の方々には、日ごろより本校の教育を温かく見守っていただきまして誠にありがとうございます。

さて、私は教員となって以来、今までに「子供たちに教えるべき大切なこと」についてさまざまなことを考えてきました。その中でも最近特に強く感じることは「ポイントをつかむ力」だと考えています。

人の話を聞いて、相手が伝えたいことをしっかり理解する力はとても大切です。特に大切なことは、その人が伝えたいポイントをしっかり理解することです。長い話の中には、何点かのポイントがあります。それさえ聞き逃さず理解できれば、相手の伝えたいことはほぼ理解できます。「相手が特に伝えたいこと＝話の中で大切な部分＝話のポイント」をしっかり理解できていると、「この人は自分の話をよく理解してくれる人だな」、「この人はわかっている人だな」と思われ、好感をもたれたり、信頼関係を築くこともできます。

物事には何事にも大切な部分（ポイント）があります。多くの情報の中からその大切な部分（ポイント）を見抜く力を身につけることは、子供たちの可能性を伸ばすために何よりも大切なことだと私は思っています。そして、これは文章を読む場合でも同じだと考えています。長い文章の中から、「結局この文章が伝えたいことは何なのか」、「何がポイントなのか」を理解できれば、ものごとに対する理解が深まったり、すべての教科の学力が向上することも期待できます。

そこで、本校では7月より毎週金曜日の朝学活前の10分間を利用して、新聞記事を利用した学習を始めました。これは、読売新聞社が提供している新聞記事を活用して、記事の中から大切な部分（ポイント）を読み取る学習です。1週間に1度の取組ですが、この取組を通して文章の中から大切な部分を探し出し、ポイントとなる部分を読み取る力を育成することができればと考えています。今後も皆様の変わらぬご支援をいただけますようよろしくお願いいたします。

部員集会

3年生の大会が終わり、いよいよ1・2年生が部活動の中心となります。そこで、1・2年生の全部活動の部員が体育館に集まり部員集会を行いました。各部の部長さんがこれからの活動に向けて決意を述べたり呼びかけを行ったりしました。



生徒会役員選挙

9月19日(水)に生徒会役員選挙を行いました。立候補した生徒による立会演説とその後の投票により、生徒会長をはじめとする素晴らしい役員が選ばれました。いよいよ後期の委員会活動が始まります。生徒会の運営や中央委員会などで活躍してくれることを期待しています。



☆☆☆☆輝く五中生☆☆☆☆



<ソフトテニス部>

第11ブロック新人大会 団体3位

多摩東部大会・都大会出場決定